

# T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ101号

発行責任者：事務局長 内田 毅

事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail : jcaokayamaoffice@yahoo.co.jp

## 主な内容

- 2面 おかあさんコーラス全国大会  
出場3団体の意気込みを
- 3面 合唱講習会に参加して
- 4面 全国大会について  
編集後記  
コンサート情報

## 岡山 Chorfest2017 を振り返る

岡山県合唱連盟副理事長 松下 泰久

せっかく岡山に「おかあさんコーラス」の全国大会が来るのだから、1団体でも多く全国の舞台を楽しんでもらえるように企画を実行しよう！これが、今回の「岡山 Chorfest2017」の企画前の最初に考えたこと。そのためには、理屈の上ではフェスと「同時開催にして、出演団体が「おかあさん」としての出演と認定できれば出演団体のカウン

トは多くなるけど、女声合唱団体は皆さんこの趣旨に賛同して下さるのかな？これが次に考えたこと。そこで、近隣の県連の視察に行こう、それってどこ？って調べて山口県大会に行ってみようと思ったのがその次。ちなみに山陽小野田市での様子については、昨年の「Tutti」に視察の報告が掲載されています。

閉会式での挨拶で「一粒で二度美味しい」と、今回の「岡山 Chorfest2017」の感想を述べました。意味が不明の方のために種明かしをしますが、1960年あたりより以前のお生まれの方はひよっと懐かしく感じる、お菓子メーカーのG社のアーモンド・コというキャラメルのCMが出典です。

ちなみに1968・9年の夏の甲子園で全国を熱狂させた三沢高校出身の投手太田幸治（近鉄に入団し、巨人、阪神と移籍しました）がテレビ画面でしゃべった台詞で、アーモンドとキャラメルの二つの味が楽しめるという意味です。

もちろん企画上懸念はありました。出演団体の数次第では開会から閉会まで例年よりも長時間居わたる可能性があるため、審査・講評の先生方も運営スタッフ疲労困憊の一日になってしまう。時間が後ろにずればレセプションも当然短くなるため、合唱について語り合う時間も十分ではなくなる。そんなことが頭を過ぎりつつも当日を迎え、あれよあれよという間に全団体の演奏も無事終わり、「おかあさん大会」の表彰式も涙ながらに終わろうとする閉会式の舞台上で「今回の企画を一言でコメントするとしたら何だろう？」って思い、ふと浮かんだ言葉がこれです。いろいろと行き届かない部分もあり、100点満点の企画ではないでしょう。しかし、多くの団体の日ごろの成果も聴けるし、「おかあさん大会」のフェス以上の本気モードの振り付け有りの演奏も楽しめるし、と昨



年までとは楽しみ方の異なる行事のそれぞれの「美味しい」部分を一日で味わえた気がします。

実際、ステージ間、ブロック間にかませる時間が、「おかあさん大会」仕様で長くなる設定になる時間帯もあり、最終的には例年より1時間遅い終了でした。それでも、演奏に対する講評を全団体の書いてくださった菅野正美全日本合唱連盟副理事長の疲れを見せない、美しい指揮ぶりによって、前日に半日合わせただけの合同演奏もすっかり菅野色に染まっている「牧子ワールド」を聴くと思わずゾクッと、「心地よい一日になった」とつつい舞台脇で興奮している自分がいました。ただ残念ながら、予想どおりレセプションの開始がいつもより一時間以上遅れ、選考委員の先生方の直接のご指導を十分に受けてもらえる時間を確保することができませんでした。全国大会に向けてのアドバイスを頂ける貴重な時間をカットしてしまうことにもなってしまったわけです。この点の解消は来年度課題として残りました。

それにしても、出演者はもちろん裏方を務めてくださった県連のメンバーの方々、本当にお疲れ様でした、そしてお世話になりました。来年もこの形態で実施します。改めるべきは改めて、よりよい「岡山 Chorfest2018」になるようご助言とお力添えを下さい。そして全国大会に駒を進めた団体の皆さん、思いっきり舞台を楽しんでください。皆さんのサポーターとして、残念ながら全国へ駒を進められなかった団の方々やその他県連のメンバーがスタッフとして楽屋、会場、誘導、進行、舞台等様々な場所で応援しています。

大阪道頓堀のビルの看板に飾られた某G社のイラストのように、全力で歌いきった「ゴールシーン」の姿が見られることを楽しみにしています。



# おかあさんコーラス全国大会にむけて

私たちコーロ グリーチネは、8月26日・27日の2日間、岡山シンフォニーホールで開催される「おかあさんコーラス全国大会」に出場できることをとても嬉しく喜んでおります。平成10年に大高小学校育友会コーラスクラブとして倉敷市で開催された全国大会初出場から鳥取市・長野市・大阪市と続き、岡山での全国大会への出場には感謝の気持ちとともに、その責任を強く感じております。

今回演奏する合唱組曲『南の絵本』は、スペインの情緒と深い精神性をもつ詩の曲で、伴奏のピアノとマリリンバの響きに歌声を乗せ、衣装のケープを用いた振り付けで音楽のイメージを広げ演奏いたします。情熱あふれる蜂谷陽子先生のご指導のもと、より良い演奏ができるよう、この夏の猛暑にも負けず練習に励んでおります。



## コーロ グリーチネ 平川かおる

全国大会の舞台では、たくさんの温かい応援を力として、素敵な仲間と共に歌えることに感謝し、心をひとつにして全力で歌い、楽しみたいと思っています。

最後になりましたが地元開催の全国大会、合唱連盟関係はじめ運営スタッフ等、多くみなさまにたいへんお世話になりますことを心から感謝申し上げます。

6月18日に行われた「全日本おかあさんコーラス岡山大会」でひまわり賞を頂いた我が『コール サファイア』は、12年ぶりに全国大会へ出場する事になりました。苦節〇年。ひまわり賞は取れても、なかなか全国大会の切符は手に入らず、残念な気持ちを持ち続けていましたが、今年の全国大会は地元岡山開催！出場枠も3チームと拡がり千載一遇のチャンス！と、心を一つに目指した結果の全国大会出場で、メンバーの喜びもひとしおです。



## コール サファイア 三好 裕美

結成41年目のサファイアは、平均年齢アラセブティ。団員数の減少、高齢化、と抱える問題は何処も同じくシビアですが、「お互いを思いやり、尊重し合い、助け合う」そんな温かく賢いミセスの集まりです。今回お届けする「さくら」は、桜の花びらに大切な誰かを重ね想いを込める歌。昨年の40周年コンサートでも披露したミュージカルの名曲「踊り明かしたい」と共に、サファイアの持ち味を生かせるかけがえのない曲となりました。暑い時期ではありますが、身体と心に鞭打って、全国大会に向け週2回の練習に励んでいます。

岡山からは、若さ溢れる元気なU-mammy'sさん、一条乱れぬ素晴らしい歌とパフォーマンスのコーロ グリーチネさんと共に、我がコール サファイアも、心にホッと灯りがともるようなそんな素敵なステージをお届けしたいと思っています。シンフォニーホールへ是非お越し下さいませ！！

「ユーマミーズ、ひまわり・・・」「きゃああ！！」と長尾副理事長の発表をかき消す私たちの歓喜の声はホール中に響き渡りました。残響の中、全国大会への推薦団体で再び呼ばれ、喜びは嗚咽となってメンバーで思わず抱き合いました。そして表彰式・・・ステージ上で頂いたその賞状には開催地岡山代表としての重責も同時に受け取りました。

平成29年8月26、27日、第40回の節目の全日本おかあさんコーラス全国大会は岡山シンフォニーホールで開催となり「今回しかない！！」と決意したあの一年前、私たち一人一人が自らに課題を課して、指摘し合い、共に成長していきました。



## U-mammy's 代表 近藤 典子

みんなで心と声を合わせるコーラス。この素晴らしい世界を共有できる仲間たち。いつも一番近くで応援し支えてくれる家族。大会成功の為、ご尽力くださる岡山県合唱連盟。全ての方々に感謝をしながら、私たちユーマミーズはこれまでの成果を発揮するべく最高のステージを心を込めてお届けします。当日は応援どうぞよろしくお願いいたします。

## 合唱講習会（指導：菅野正美先生）に参加して

岡山市民合唱団鷺羽 谷村 郁之

6月29日（木）鷺羽の練習後、日頃お世話になっている内田事務局長から合唱講習会参加の原稿を書いてほしいとの光栄なご依頼があり、お断りするのもし訳なく、この拙文を書かせていただきます。

合唱王国・福島を牽引し輝かしい実績を積み上げてこられた菅野正美先生が、どんな指導をされるのかを楽しみに6月17日の講習会に参加しましたが、期待に違わぬものでした。「褒めることで自立心を育てる」のを指導法の基本としている先生らしく、先生の柔和で温厚な雰囲気の中にも理想を貫こうとする姿勢を感じ取ることができました。

18日の合唱フェスタの最後を飾る発表会は、先生の理想、思い、指揮にメンバーがついていけず少し残念な演奏になりましたが、先生の本をすぐにでも読みたい気持ちになり、翌日、「必ず役立つ合唱の本～レベルアップ編～（監修：清水敬一）」を買って帰りました。その第5章に「菅野正美先生に聞く合唱指導の秘訣」が掲載されており、菅野先生の指導法、思いを皆様にお伝えできればと思います、その中から8つのポイントをご紹介します（※印は、今回の講習会で菅野先生が言われた内容の一部です。）。

### 1 自然に美しい声で歌えることこそ一生の課題

- 先生が受け継いだ頃の合唱界は、指揮者のカリスマ性が重視されており、一人ひとりの力量は問題ではなく、全体としての構築や音楽性に主眼が置かれていた。
- 理想は、部員一人ひとりの顔が見えるような音楽。120人いたら120通りの顔が見えるような、120分の1ではなく、120倍の音楽をしたいというのが夢であり、理想の形。そのためには、まず一人ひとりが、もっともその人らしく自然に声が鳴り、その美しい声を最大限に伸ばしてやるのが大切である。
- 基本は声楽的に美しい声である。声楽的な発声を一人ひとりが身につけることが必要であり、立ち方、姿勢、息の吸い方、息の吐き方などの基本を身体に覚え込ませることが必要。これこそ一生の課題である。

### 2 ボイストレーニングも練習も効率よく

### 3 褒めることで自立心を育てる

- 自立心を育てるためには、必ず褒める。これは大人も子どもも変わらない。「いい声」とまず褒める。何も褒めるようなところがない合唱団でも「素敵な衣装でした」「気品がある」と褒める。大人の場合は、「今の歌いの方が絶対いいよね」というように、自分が求めている方向に導くようにする。

### 4 アカペラで練習して音のバランスを磨く

- 基本は、聞いたときに心地よいかどうか。アカペラの作品を通して「ハモる」という快感を体験することが大事。ピアノ付きの曲でも、まずは合唱だけで形をきっちり作っておき、ピアノとの合わせは次の段階とする。

### 5 表現の豊かさに必要なこと

- 声楽的な発声は大切だが、何かを伝えようとするときには、あえて「はみ出す」ことが表現の豊かさにつながる。
- ※今回の「おんがく」の25小節目の「シャーベットのよるに」では、「（普通は声を集めて歌うが、）

シャーベットなんだから、それをイメージして、声を広げて歌うように」との指示あり。

※<うたよ！>の練習時には、「ウとオの歌い方次第で、歌に品格が出る」とのお言葉あり。

### 6 マネて学ぶ

- やってみせることが一番の近道。アクセントの付け方や声の抜き方（弱め方）にしても、「このように」と実際に歌った方がわかりやすい。その中に身を置くと、その声になっていく。

※<おんがく>の出だしの「かみさまだったら」では、ソプラノに「あなた達はお姫様。お姫様なので、少し威厳を持って歌うように」との指示あり。

※<うたよ！>では、「森繁久弥は、歌は語るように、語りは歌うように」と言っていた。言葉を手のひらの上に乗せる感じで歌うように」との指示あり。

- よい声に触れる機会を持つ。CDを聴き、簡単な曲であれば一緒に歌うのがよい。「ああいう声になりたいと思うこと、どれだけ強く憧れるか、思うか」が大切である。

### 7 合唱だけではなく、人を育てる指導を

- 子どもの頃に様々な人と対峙し、人としての基礎を培うことが、合唱をする上でもたいへん重要である。

### 8 歌うこと、合唱することは人間の根源

- 合唱を向上させるノウハウの根本にあるのは、人と人との繋がりである。
- 仲間は多い方がいい。人と人が同じ時代に生きていくことの素晴らしさというか、その意味というのは、何かを集団ですることによって、より大きなものを得ることにつながる。音楽を通して、一つの目標に向かい進もうとする時に凄いいことが起き、自分の中で大革命が起こる。一步踏み出すか、踏み出さないかだけである。
- 声（感情）を出すことは人間の根源的な活動であり、誰にも最初から歌がある。だから、まず歌を、合唱を続けてみてほしい。



最後に、我が家の片付けを最近していたところ、35年前の結婚披露宴の寄せ書きが出てきました。披露宴では天城高校音楽部（合唱部）の友人に司会をしてもらい、高校や大学の合唱関係の友人と合唱をしたのですが、現在、他県の某有名合唱団の代表をしている友人のメッセージに、「音楽を愛し、合唱を愛し、そして何よりも人間を愛する人生をお送りください」とあるのを発見しました。このとっても有り難いメッセージを大切に、円熟期の60代を鷺羽の仲間と一緒に、また、学生時代の仲間と一緒に、思いと心を込めて楽しんで合唱し、合唱に浸る日々を過ごしたいと思う今日この頃です。

# ハートフルな笑顔でお迎えを

## 岡山県合唱連盟副理事長 長尾 節子

まだまだ先の事、が、昨年青森大会の視察で、あと1年・・・、そして今や目前に。

パワフルでカラフルなおかあさんコーラスグループが全国から64団体、ここ岡山へやってきます。

今回は、今や幻の「チボリ公園」が開園して間もない頃、コーラスジャンボリーの一環として倉敷市民会館で開催されました。あれから20年、全てに進化した大会が8月26日、27日の二日間、岡山シンフォニーホールで開催されます。すでに準備のための事務局が朝日新聞岡山総局に設けられ、理事が交代で対応しています。運営各部の部長も、綿密な打ち合わせをしてマニュアル作りに取り掛かり、当日に備えます。

### 【編集後記】



今年から始まった「Chorfest2017」なかなか大変な大会になりましたね。出演をし、運営にも回りと皆さん忙しく走り回ってくれました。私も演奏を聴くことが出来ず、会場の様子、雰囲気が全然わかりませんでした。松下副理事長も書いてくれていますようにおかあさんコーラスの代表を増やそうと計画したのですが、しばらく遠ざかっていたおかあさん団体や、一般部門の団体からも快く協力していただき、目論見通りに3団体を推薦できました。ありがとうございます。来年もよろしくお祈りしますね。

自分達が少し柔軟性をもって協力することで喜んでくれる団体があるということを知っていただきたいですね。

コンクールでも代表を選ぶときはいつもそうなんです。あと一団体増えれば推薦数を増やせるのに・・・。

そうです、来週はコンクールです。本当に次々と行事があって、スタッフをお願いするのが心苦しいのですが。連盟に加盟している限り、このスタッフは付いて回ります。でも自分だけが、自分の団だけが負担を強いられているというマイナスイメージは止めましょうね。もっと大らかな気持ちで、歌う仲間の為に、自分たちの若い頃と同じようにコンクールに燃えている若い団体の為に、縁の下で支えてあげる。支えてもらった人は、別の機会にそのお返しをする。そんな絆のようなものが出来れば良いですね。指導の方も、スタッフへの感謝の気持ちを忘れないように、と指導して下さい。

さて、おかあさん全国大会が無事に終わると(たぶん終わるでしょう。)、いよいよ70周年記念演奏会の練習が始まります。女声・男声・混声合唱の練習初めは9月3日です。13時から女声はおかやま南ふれあいセンター、男声は岡山市南公民館で練習を、15時半から南ふれあいセンターで混声合唱をやります。18時まで。詳しくは又。

(事務局長 内田)

第40回全日本おかあさんコーラス中国支部岡山大会成績一覧

2017/6/18(日)岡山シンフォニーホール				
順番	団名	賞	全国推薦	特別賞
1	すみれコーラス	(選考外)		
2	コールなでしこ	(選考外)		
3	夕なぎコーラス	大会賞		
4	倉敷コール・クライネ	(選考外)		
5	コール・ココ	大会賞		
6	山陽女声コーラス	(選考外)		
7	コール黄薇	大会賞		
8	U-mammy's	ひまわり賞	○	あさひ賞
9	津山女声コーラス水曜会	大会賞		
10	女声合唱団KIBI	大会賞		
11	女声合唱団萌え木	大会賞		
12	コールあまくさ	ひまわり賞		
13	コール・たかほし	大会賞		
14	せせらぎコーラス	大会賞		
15	まぎびコーラス	大会賞		
16	ポリ・ティューン	大会賞		
17	コール・ファミーユ	ひまわり賞		あさひ賞
18	コーロ グリーチネ	ひまわり賞	○	
19	コール サファイア	ひまわり賞	○	
20	コーラスあじさい	(選考外)		
21	コロポーニョ	ひまわり賞		

## CONCERT INFORMATION

### 女声合唱団 萌え木 第3回定期演奏会

と き 2017年10月29日(日) 14:00 開演  
 ところ 岡山県立美術館ホール(2階)  
 曲 目 女声合唱: C.ロセッティの4つの歌(全曲)  
 混声合唱: 混声合唱曲集「落葉松」(全曲)  
 女声・混声: 「LOVE」「YUME」(抜粋)  
 指揮 矢内 淑子  
 入場料 1000円  
 お問い合わせ 090-1012-9387 (東原)

### 岡山混声合唱団 第71回定期演奏会

と き 2017年11月5日(日) 14:00 開演  
 ところ 岡山市立市民文化ホール  
 曲 目 I 「こころに残る愛唱歌」(全7曲)  
 II 「アリャビエフによるロシア無伴奏合唱曲集」  
 III 「山田耕作による五つの歌」(三善晃編曲)  
 指揮 片山 康雄/伊藤 正紀  
 入場料 1000円(高校生以下無料)  
 お問い合わせ 086-252-0986 (原田)